



保健室便り

知っていても,分かっていても

AIDS IS NOT OVER



No.78 2016年11月1日

WHO（世界保健機構）、UNAIDS（国連合同エイズ計画）は**12月1日**を「**World AIDS Day**」と定めエイズに関する啓発活動を実施しています。エイズに関する正しい知識の普及、エイズの蔓延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的としています。

2015年1年間の新規HIV感染者報告数は、1,006件、HIV感染に気付かずエイズを発症してから報告された件数は428件と共に**過去8番目に多い報告数でした**。HIV感染及びエイズ発症者の累計報告数は25,995件と年々増加しています。また、女性の新規HIV感染者数がこの3年間で増加傾向にあります。日本ではHIV感染に気づかないままエイズを発症するケースが、新規エイズ患者の30%を占めています。

治療法の進歩によりHIVに感染してもエイズの発症を抑制することが可能です。より早期に治療を開始するためには、HIV検査を受ける事が重要です。

保健所では、匿名・無料で検査が出来ます。「セルフ検査キット」は、有料（3000～5000円位）ですが、自宅で検査をすることができます。HIV感染の疑いがあると判定されると、医療機関への相談が必要です。

下記のホームページより相談・無料検査を実施している医療機関を探すことができます。



HIV検査機関マップ：<http://www.hivkensa.com/>

大阪府のHIV検査可能施設：<http://www.hiv-box.com/ken/27>

HIVとは

HIV (Human Immunodeficiency Virus) ヒト免疫不全ウイルスと訳されます。HIVはヒトの白血球に侵入して、破壊します。HIVは徐々に増殖を続け、白血球を破壊し続けます。HIVが増殖を続けると自分の体を守る免疫力が落ちていきます。

AIDSとは

AIDS (Acquired Immune Deficiency Syndrome) 後天性免疫不全症候群と訳されます。AIDSは、免疫力がある一定のレベル（健康な時の5分の1位）まで低下すると健康な時には問題がなかった病原体、細菌に抵抗することが出来なくなり特徴的な肺炎など様々な病気を発症させます。

感染ルート

セックス、HIV感染した注射器の共有、母子感染、HIVに感染した輸血や血液製剤の4ルートです。

（入浴や日常生活の色々なコミュニケーション等では感染しません）

治療

感染したHIVを体からなくしてしまう薬や、感染しないようにするワクチンはありませんが、治療は確実に進歩しています。HIVの増殖を抑制することは可能です。HIV感染がより早い時期に判明し医療を受ければ、エイズ発症を防ぐことは可能です。但し、医療機関において継続した治療を受ける事が重要です。HIV感染がわからないまま放置していきなりエイズを発症してしまうと治療も困難になります。

感染予防

HIVの90%以上はセックスで感染しています。コンドームは感染予防の必需品です。信頼のおけるメーカーで製造された品質保証期間内のコンドームを正しく使うことが大切です。

愛や信頼だけではHIV感染を防げません！

保健室にコンドームや検査施設案内、STI（性感染症）に関するパンフレットを常置しています。



不安なこと、解らないことがあれば、いつでも保健室へお尋ねください。

桃山学院大学 学生支援課 保健室

